

① 「防災スペシャリスト養成研修体系」の構築

教育理念

「防災スペシャリスト」に求める人材像と能力

- 人材像
- 求める能力(コアコンピテンス)
 - ・災害時に、〇〇できる人 → 〇〇能力
 - ・平時から、〇〇できる人 → 〇〇能力

第3回検討会

人材育成の体系

- 対象者: 市区町村、都道府県、国
- コース: 職位/職能 or 共通/専門
- 方法: eラーニング/セミナー/ワークショップ/演習
- 場所: 職場OJT/職員自己啓発/職場外研修(内閣府研修等)

第4回検討会

人材育成の内容・方法

- 学習目標
身につけるべき能力
(具体的なコンピテンス)
- 学習内容:
- 教授法: 教え方
- 効果測定 他

- ・ 災害対策基本法
- ・ 防災基本計画
- ・ 地域防災計画
- ・ 標準テキスト 等

第5回検討会

学習要領の作成 (学習体系/対象別の育成内容)

研修コース・プログラムの開発

教材等の開発 等

次年度以降

次年度以降

② 総合カリキュラムに基づく教材等の開発

学習要領（学習体系）

標準テキスト

基礎テキスト作成

- ・業務を実施するうえで身に付けておくべき基礎的な知識を示した教材

ベース

- ・ 防災基本計画
- ・ 標準テキスト
- ・ 研修講師教材
- ・ 災害対策全書 等

eラーニング（個人・独学）

研修コース・プログラムの開発

研修教材作成

- ・各研修プログラム（各講座）の基本スライド
 - 授業の目標
 - 前提条件
 - 学習新規事項
 - 学習指針
 - 学習成果の評価
- ・確認テスト

教授基本要領作成

- ・指導方略（何をどうやって教えるか）
- ・ポイント



次年度以降

③ 人材育成強化のための支援の仕組みの構築

人的ネットワーク形成、人的資源確保のための仕組み

ネットワークの形成をサポートするための仕組み

- (例)
- ・ 職員間、職員・講師間の人的ネットワークの形成・維持・強化
 - ・ 訓練・研修に係る人材資源の確保・蓄積

研修体系を継続的に改善するための仕組み

研修体系全体を継続的に改善していくための仕組み

- (例)
- ・ 研修体系・内容・方法・体制など、研修システム全体に係る評価・見直し
 - ・ 人材育成に係る最新の動向、教訓・知見、研究成果等の研修への反映

人材育成を効果的に支援するための仕組み －防災プラットフォームの構築－

人材育成を効果的に行うための様々な支援を提供するプラットフォーム

テキスト等の教材、eラーニング、訓練パッケージ、災害記録データ・教訓等を集積・提供する場（防災情報データベース）、交流・情報交換・課題解決を図る場の確保

- (例)
- ・ 標準テキスト、基礎テキスト、eラーニング、訓練パッケージ等の教材開発・提供
 - ・ 災害記録データの収集・提供（経験知：AAR、災害エスノグラフィー等）
 - ・ 研修受講生（OB）の交流の場、情報交換の場の提供（クラウド交流）
 - ・ 人材情報等の提供 等